



梅雨の合間のまぶしい日ざしに夏の到来を感じるこのごろです。急に暑くなるので、体調を崩しがちになります。食事と睡眠をしっかりと、水分補給もこまめにしながら元気に過ごしましょう。



夏に多い病気



ヘルパンギーナは、突然の発熱とのどの奥に水ぼうがができる病気。のどの痛みが強いため食事や水分がとりにくくなることがあります。こまめに水分補給をして脱水に注意しましょう。

- ★ 38～40℃の高熱が1～3日続く
- ★ のどの奥に白いぶつぶつができる
- ★ のどの痛み
- ★ 食欲不振など

症状

- ★ かぜと同じケア
- ★ こまめな水分補給
- ★ 薄味のスープや豆腐、プリンなど、のどごしと消化のよい食事

ケア



目の症状が気になったら、アデノウイルスによる感染症かも!? 感染力が強いため注意が必要です。早めに受診しましょう。



- #### 症状
- ★ 発熱 (38度以上)
 - ★ のどの痛み
 - ★ 目の充血
 - ★ 目やに、涙
 - ※ 熱は3～5日続く

- #### ケア
- ★ 対処療法が中心。
 - ★ 水分補給をして脱水予防を

6月の利用状況

延べ利用人数 34件

《病名内訳》

感冒、気管支炎、咽頭炎、中耳炎、咽頭結膜熱など



症状

発熱することもある

手のひら、足の裏、口の中、おしりに赤い発しんがある

下痢をすることもある

夏に流行することが多い病気。感染力が強いため何度もかかる可能性があります。

口の中の水ぼうが痛むときは、ヘルパンギーナのケアと同様で、のどごしのよい物を。

治った後も、2～4週間くらいは便にウイルスがいます。おむつ替えの後は、しっかり手を洗ってください。

かかってしまったら園をお休みしましょう。熱が下がって1日以上経過し、いつも通り食事ができれば登園可能です。

症状

ケア

